

新開発抗菌塗料（アンチウイルスガード α 溶液）による
新型コロナウイルスの不活性化確認

《概要》

滋賀医科大学（病理学講座疾患制御病態学 伊藤 靖教授）は、株式会社新日本化研が新たに開発した「アンチウイルスガード α 溶液」に関して、後述の《実験内容》を実施し、新型コロナウイルスを検出限界以下に不活性化することを確認しました。

《背景》

新型コロナウイルスの拡大防止策として、新開発抗菌剤「アンチウイルスガード α 溶液」を学術的に検証しました。

《実験内容》

下記試験試料に SARS-CoV-2 hCoV-19/Japan/QK002/2020（アルファ株、国立感染症研究所 提供）を含むウイルス液を混合し、室温に静置しました。その後、処理液を VeroE6/TMPRSS2 細胞に接種し、ウイルスを定量、効果を評価しました。

（試験試料）

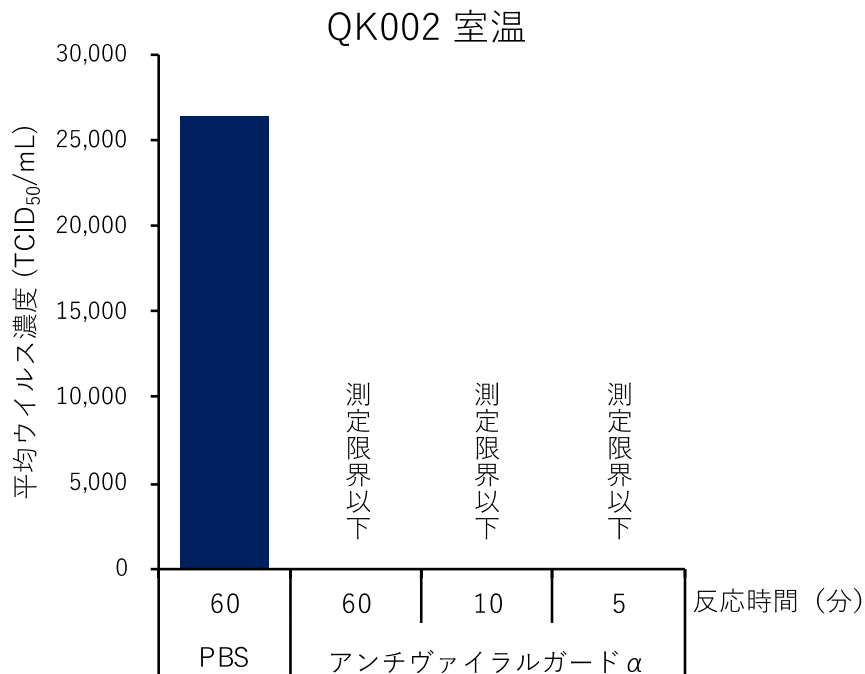
アンチウイルスガード α 溶液

（試験時間）

5分、10分、60分

《研究成果》

アンチウイルスガード α 溶液にウイルス液を混合し、5分静置することにより、感染性ウイルス量を測定限界以下に減少させることを確認しました。



内容に関するお問い合わせ先

株式会社新日本化研

代表取締役 新田 祐己 (にった ゆうき)

TEL:072-243-3371 E-mail:contact@snk-kaken.com

国立大学法人滋賀医科大学 医学部医学科病理学講座 (疾患制御病態学部門)

教授 伊藤 靖 (いとう やすし)

[TEL:077-548-2171](mailto:yasushii@belle.shiga-med.ac.jp) E-mail:yasushii@belle.shiga-med.ac.jp

プレスリリース発信元

国立大学法人滋賀医科大学 総務企画課広報係 (担当:北川)

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田町月輪町

[TEL:077-548-2012](mailto:hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp) FAX:077-543-8659 E-mail:hqkouhou@belle.shiga-med.ac.jp